

EURO DAMPER

国産スポーツやチューニングの世界を知っている人なら、グリーンのコポレートカラーで言わずも知れたサスペンションメーカーであるテインが、いよいよ輸入車向け市場に本格参入する。2007年5月1日からリリースされる。嬉しいことにメルセデス用もアプリケーションに加えられた。この国内屈指のサスペンションメーカーが様々なモータースポーツシーンで培ってきたノウハウとデータを基に、どうメルセデスのプラットフォームをリメイクするのか、大いに期待が持てる。まず商品ラインアップは、その名もユーロダンパーというアイテム。イン

チアアップサイズのタイヤ&ホイールを基準に、純正プラスαのスポーツ性と快適性を損わずに最適なローダウンを実現。さらに運転席に座ったままで減衰力調整可能な同社独自のEDFCに対応するという付加価値も備えた、前後ネジ式車高調整機能付きサスペンションシステムだ。基本的な構造は単純式で、前後の減衰力は16段階で同時に調整ができる。車高そのものはミリ単位で調整可能だ。テスト車はW203型C200コンプレッサーで、使用タイヤはミシュランパイロットスポーツPS2の225/40-18と255/35-18をBBS製鍛造ホイールに組み合わせていた。

まず試乗会場付近の一般道からワインディングロードへ移動したが、乗り出してすぐに明確なスポーツテイ感を味わうことができた。クルマの復讐さを引き出す方向となっており、試乗前の説明で聞いたイメージよりはかならずスポーツに振っているのかな、という印象を持った。前後バランスもまとまっているし、このあたりはさすが専門メーカーだと思ふ。ヨーロッパ車特有の乗り味を重視したのかと思いきや、実際には結構ハードなイメージになっている。車高調整システムならではのダイレクト感が出ていて、好みは分かれるかもしれない

けど、突き上げ感も国産スポーツの世界を知る人には違和感が少ないだろう。さらにEDFCを駆使して車内から減衰力を変えてみたが、16段階ある設定の上下で意外にその変化幅は少なく感じた。せっかく付加機能が備わっているのに、もっと調整幅を持たせてもいいと思う。そうすることでより乗り味にも幅が広がるはずだから。とにかくC200Kのダルな所を切り捨て、その分スポーティなフォーリングを出している。最近、比較的しっとりとした動きのサスペンションが主流だけど、このユーロダンパーはずいぶん硬派な味付けになっていると思う。

FOOTWORK GEAR TEIN EURO DAMPER Cクラスの足がしっかり、 スポーティに引き締まった!!

TEXT BY AKIRA IIDA
PHOTOGRAPHS BY MASAKATSU SATO
©テイン 0495-810-5501 <http://www.tein.co.jp>



EURO DAMPER
C-class用 / ¥278,250
テインが満を持して輸入車用にリリースした車高調整式可変減衰力サスペンションシステム。WRCで培ったサスペンション技術を応用し、最新のテクノロジーを反映させた単筒式を採用。後筒式よりオイル容量を多く取れヒストンバルブを天強化できる利点を活かし、微少な減衰力をコントロール。ミリ単位で車高も調整でき、また質感も高くスタイリッシュさも備えている。

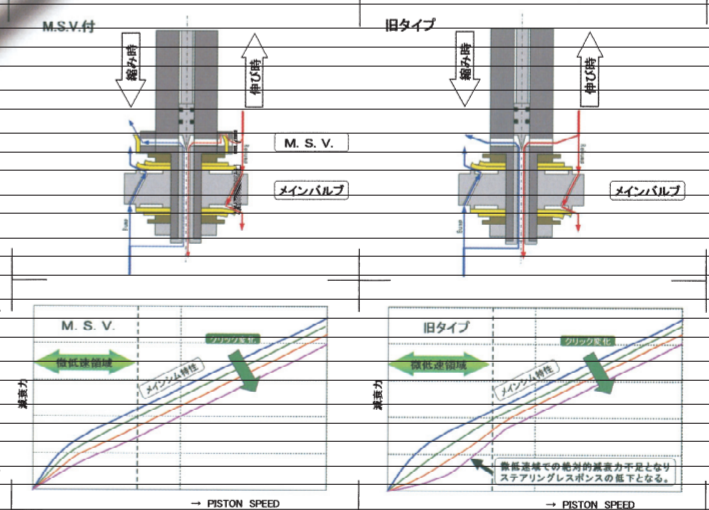
※車高は純正比で前後30mmダウンに設定。トレスアップダウンではごく標準的な数値だろう。パネレートは純正が11.9kg/mm、R6.1kg/mmに対し、F4.0kg/mm、R6.0kg/mmに変更されている。免ノールの不必要な動きを規制し、ロール剛性も高める方向で開発。これだけのシステムがセットされたら、予備は30万円を下回るというのもトビックスといえる。

※ショックユニットは前後16段階で減衰力調整が可能。フロントはユニット底部に、リアはユニット下部に調整用ダイヤルが備わり、そこからリモートコントロールのEDFCを追加可能。4ダイヤル部をステップモーターを利用して車室内のコントローラーから任意に可変させるのがEDFCの基本原理。ドレスタップ効果、また調整しやすさというユーザー心理が高まる。



REPORTER / 飯田 章
現在GT15ドライバー兼メルセデスフリークでもある。宇都宮県内の広いロードコースで、鋭い観察眼と高い開発力、そして高次元のドラテクを備える。

M.S.V.(Micro.Speed.Valve)のシステム解説



さらに最新技術であるM.S.V.という独自開発のバイパスバルブを備えている。この機構は同社がWRCやニュル24時間耐久レース、S耐などで鍛え上げた独自のシステムである。ニードルを通過するオイルバイパス部に設けたバルブが、高低速域の減衰力を確保。結果クルマの安定性を向上させ、より理想的なセッティングを可能にしたという。具体的には減衰力調整ソフトにしても、ステアリングレスポンスは確保されるのでしっかり感をお失わない。

- C200 COMPRESSOR (W203) SPEC (パネレート)
- 1.0kg/mm (純正1.9kg/mm) ●0.6kg/mm (純正0.1kg/mm)
- 【車高ダウン量】
- 10mm (純正比) ●9mm (純正比)
- 【車高調整可能範囲】
- 10mm (純正比) ●15mm (純正比)
- 【タイヤ(フロント/リア)のサイズ】
- 225/40ZR18 ●255/35ZR18
- 【ホイール(RRS)】 ●8.0J18+35 ●9.0J18+38